



本メールマガジン「教育ながの」に関するアンケートを 1 月 31 日まで実施中です。

記名は必要ありません。ぜひ、以下 URL から御協力お願いいたします↓↓↓

<http://www.shinsei.elg-front.jp/nagano/navi/procInfo.do?govCode=20000&procCode=100523>

★今月号のラインナップ★

1. ひろば

○「防災と地域と教育と」

中信教育事務所長 百瀬広明

○「正直」、「誠実」、「ひたむきさ」

長野盲学校長 和田英夫

2. 特集

○総合教育会議について

教育総務課

○未来をひらく～信州の先生になろう～ 長野県教員採用説明会（第1回）

高校教育課

3. 現場レポート

専門高校生による生徒研究発表会に行ってきました

4. ご存知ですか

子どもたちの知的好奇心や思考力・構想力等を伸ばすことを目指した

信州魅力発見「算数・数学問題作成チャレンジコンテスト」

教学指導課

5. イベント情報・お知らせ

長野県、教育委員会事務局内各課からのお知らせ、

生涯学習推進センター、県立図書館等のイベント情報等

6. あとがき

昨年の中信教育事務所管内では、大きな自然災害が連発しました。7月に南木曾町では土石流により中学生1名の尊い命が奪われました。9月には御嶽山の噴火、11月には県北部で神城断層地震が発生しました。御嶽山では未だ行方不明の方、白馬村では仮住まいの方々がおられ心からお見舞いを申し上げます。

さて、平成7年1月の阪神・淡路大震災から20年が経ちました。このとき注目されたのが「自主防災組織」の大切さです。この震災では、建物の倒壊等から救助された人の95%が自力又は家族や隣人によって助け出されたもので、救助隊等の公的機関により救助された方は1.9%だったそうです。正に「遠くの親戚より近くの他人」ですね。

防災活動では、その場に居合わせた人達あるいは向こう三軒両隣の相互支援がとても大事だということを確認させてくれました。

それから16年後東日本大震災が発生しました。この時も「自分たちの地域は自分たちで守る」姿勢が、自らの命を守ることに繋がると再認識させてくれました。

震災当時宮城県仙台市の教育委員会にいた、文科省国立教育政策研究所の長田徹調査官の話（昨年度当所主催の学社融合フォーラムの基調講演）では、『多くの学校が避難所になったが、運営がスムーズにできたのはコミュニティスクール活動など、普段から学校と地域の仲が良いところであった。そういう気風があるから力を合わせて他者を支えることができた。』と話されています。

さらに、長田徹先生からは、両親以外の大人と毎日話をしている子どもは学習意欲が高く前向きであるという話とともに、親や学校の先生とも別な「ナナメの関係」が大事と話されました。「子どもを外に出そう」→「地域の大人とたくさんかかわろう」→「必ず子ども達が地域に力を返してくれる」という話は胸に深く落ちるものでした。

今、信州型コミュニティスクールに取り組む学校が増えています。まだこれからというところもありますが、先生方には、とにかく子ども達のために本気になってやっていけば必ず結果に表れてくるということ。そして地域の方々には、学校ともっと仲良くなってもらいたいし、そのためには先生に遠慮はしないでほしいということを申し上げたいと思います。防災から話が飛びすぎていくかもしれませんが、関連があるように思っています。



「正直」、「誠実」、「ひたむきさ」

長野盲学校長 和田英夫

この冬も長野では12月から降雪があり、早朝から学校の雪かきを何回かしました。積雪の多い地域の学校では教職員があるいは子どもたちと共に、雪かきをする姿は当たり前の風景で、ある意味雪国の学校のカルチャーの一つのように思います。

一人、二人でかくのではなく、何人もの人がそれぞれの場所で、それぞれに雪をかくところに意味があります。教育活動の多くが、個人プレーでなく、教職員全体の組織としての活動、チームとしての活動となっていることを象徴しているように思います。

雪かきは林芋村先生が「深雪せる野路に小さき沓の後われこそ先に行かましものを」と詠まれているお子さんに向き合う姿勢だけでなく、学校を訪れる保護者、地域の皆さまに対する開いた姿勢でもあります。お子さんや地域の皆さまと共に学習や生活に取組もうという、そんなことを目指していきたいと気持ちを新たにしました。

昨年、度々報道された「論文の不正」、「記事の誤報」、「楽曲の代作」といった「偽り」、「駆け引き」、「詐術」などではなく、それらと対になる「正直」、「誠実」、「ひたむきさ」といったことを地道に続けることがそのことに繋がるのではないかと考えています。



平成 27 年 4 月 1 日以降、全ての自治体に設置が義務付けられる「総合教育会議」について、長野県の状況や、設置・運営のポイントなどについてご紹介します。

○長野県における「総合教育会議」開催の状況

長野県においては、知事が公約に掲げた「人材教育県づくり」を着実に進めていく上で、来年度からの教育施策に反映していくためには、できるだけ早い時期に教育委員会と意見交換し、共通認識を持つ必要があると考え、法の趣旨を踏まえ、前倒して総合教育会議を立ち上げました。

事務局を知事部局の総合政策課としてスタートし、これまでに 2 回（H26.10.30、H27.1.15）の会議が開催され、今後の長野県の教育施策の方向性や、平成 27 年度の教育関係予算について、知事部局と教育委員会との連携が必要な事項を踏まえながら、活発な意見交換が行われたところで

す。

（長野県総合教育会議の様子）

<http://www.pref.nagano.lg.jp/kikaku/kensei/shisaku/sogokyoiku/index.html>

○総合教育会議設置・運営のポイント

総合教育会議の主権者は首長（市町村長）です。これを、単に首長の権限（関与）の強化と捉えるのではなく、別の観点で考えてみたいと思います。

本格的な少子・人口減少社会を迎え、また、グローバル化や情報化が急速に進展するなど、教育を取り巻く環境は大きく変化する中、教育行政は、今や教育委員会の範ちゅうで完結する時代ではありません。子育てや子ども・若者への支援、さらには地域づくりなど、首長が所管する様々な行政分野と連携し、進めていくことが不可欠となっています。

各自治体におかれては、この会議の設置を好機と捉え、地域の教育の質を向上させるため、また、より住民の視点に立ったサービスを提供するために、首長と教育委員とが大いに議論していただくこと前向きに考えることもできるのではないのでしょうか。

この会議をどのように位置づけ運用していくのか、各自治体でよく検討していただきたいのですが、いずれにしても、「連携・協働」が会議の大きなテーマになるものと思われます。

◆お問い合わせ◆

長野県教育委員会教育総務課総務係
電話：026-235-7421 FAX：026-235-7487
E-mail：kyoiku@pref.nagano.lg.jp

[目次に
戻る](#)

12月14日（日）、関東で学ぶ大学生・大学院生を対象に、今年度の新たな取組として、長野県教員採用選考説明会を「銀座NAGANO～しあわせ信州シェアスペース」で開催しました。

◆現在長野県には84校の公立高等学校があり、その範囲の広さからも多様な高校が存在します。また、今後ますます生徒の多様性も保護者・地域の多様性も進んでいく傾向にあります。そのような状況の中で、長野県を愛し、生徒・児童のために様々な状況に順応して、未来を担う生徒を育てようという意識の高い人材を確保したいという思いがあります。長野で働く教員や、頑張る生徒の姿に触れ、教職に興味を持ってもらいたい、また、早い時期から長野県の教員採用選考の仕組みを知ってもらい、採用選考を真剣に考えるきっかけとしてもらいたいという思いから説明会を開催しました。本年度3回行う説明会の第1回目、「高校の教員を目指す人のための説明会」の様子を紹介します。



伊藤教育長の挨拶

◆銀座のすずらん通りに10月26日にオープンした銀座NAGANO。当日は、東京で学ぶ大学生を中心に20名の方が参加してくださいました。13時30分、伊藤学司教育長の挨拶から会は始まり、まず、屋代高校の2年生・1年生の5名が、SSH（スーパー・サイエンス・ハイスクール）の研究成果と部活動（天文班）の取り組みを発表してくれました。高校生のしっかりとした発表に大学生は大きな刺激を受けたようです。次は、長野県の県立高校で活躍する現役若手教員5名が、教員を目指した理由や採用試験の経験談、教員の魅力ややりがいなどを語りました。大学生にとっては、現役の教員の『生の声』が聞けて、今後の参考になり、モチベーションにもつながったようです。その後、グループに分かれ、現任教員・生徒も加わって、フリーディスカッション・模擬集団面接を行いました。最後に教育委員会から教員採用選考のしくみについて説明を行い、内堀繁利高校教育課長の挨拶で16時40分に会は終了しました。



グループディスカッション

◆参加者のアンケートを見ると、教員を目指す大学生にとって、さらにその意識を高める良い機会になったようです。



屋代高校生の課題研究プレゼン

次回は2月1日（日）に「義務教育の教員を目指す人のための説明会」、最終回は3月7日（土）に「女性のための説明会」を行います。詳細は以下ホームページへ▼

<http://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/koko/saiyo-nyuushi/joho/saiyosetumeikai.html>

◆お問い合わせ◆

長野県教育委員会事務局高校教育課管理係
電話：026-235-7430 FAX：026-235-7488
E-mail：koko@pref.nagano.lg.jp

目次に
戻る

専門高校生による生徒研究発表会に行ってきました

12月13日（土）、長野県総合教育センターにおいてに専門高校生による生徒研究発表会が開催されました。生徒研究発表会は、長野県内で商業、工業、農業、家庭、福祉などを専門に学ぶ高校生が、ステージ発表や展示、販売・実演によって学習成果を発表する場で、平成16年度から開催されています。

11回目になる今年度は、昨年度の27校より2校多い29校が参加し、様々な学習成果の発表が行われました。その際の様子をご紹介します。

【ステージ発表】

ステージ発表は、スクリーンにスライドを映す形で行われました。

地元の食材を使ったお弁当や献立の作成、地元の商品を広く流通させる方法の検討、駅の緑化活動や、学校のトイレを使いやすくするための改修計画など、様々な分野の学習についての発表が行われ、スライドの中の生徒はとていきいきとしていました。長野県内のみならず、首都圏での販売実習を行った学校もありました。

発表は、映像や画像を多く使うなど発表方法に工夫が凝らされていて、普段なかなか触れることのない分野の発表もとても分かりやすく、興味深く見ることができました。



【展示発表】

会場の一角には研究成果の展示スペースが設けられ、研究の内容をまとめたパネルのほか、オリジナルデザインのドレスや家具、電子機器など実際に作成したのを見ることができます。操作を体験できるものもあり、ステージ発表の合間には、作成した生徒によって展示品の説明が行われていました。にこやかに説明する姿が印象的でした。



【販売】

昼食休憩の間、生徒による販売実習が行われました。自家製のお弁当やジャム、お菓子、アイスクリームが売られており、多くの人でにぎわっていました。

食品は地産地消をコンセプトにしているものが多く、筆者もお菓子とジャムを購入して帰りました。地元で育ったものの美味しさを引き出そうとする努力が垣間見られ、とても美味でした。

【おわりに】

それぞれの生徒が目的や問題意識をしっかり持って、地元企業や地域住民、先進県からの聞き取りなどによる入念な情報収集を行い、課題解決のための実践に何度も取り組んでいることが、発表全体を通して伝わってきました。異なる分野を勉強する高校生が、互いの学習成果を知ることによって、良い刺激にもなっていると感じます。

印象に残ったのは「この研究成果を後輩たちに引き継いでいきたい」という言葉が多く为学校から聞かれたことです。今後、後輩たちによって研究成果がさらに深く掘り下げられ、ハイレベルな研究が行われていくことでしょう。

研究発表会には、毎年高校進学を控えた中学生やその保護者の方も多くいらっしゃることで、実際に真剣な表情でステージ発表や展示を見る中学生の姿も見られました。

専門高校でどんなことを勉強できるのか、なかなかイメージできない中学生やその保護者の方々も、高校生自身による研究成果を実際に見聞きすることによって、進路選択においてとても参考になるのではないかと思います。



（文責：教育委員会事務局教育総務課企画係 西 加奈永）

子どもたちの知的好奇心や思考力・構想力等を伸ばすことを目指した 信州魅力発見「算数・数学問題作成チャレンジコンテスト」

教学指導課では、子どもたちの知的好奇心や思考力・構想力等を伸ばし、主体的に学ぶ態度を育むことを目的として、今年度初めて「信州魅力発見 算数・数学問題作成チャレンジコンテスト」を開催しました。第1回の今年度は、小学校3年生から中学校3年生まで、合計414点の応募をいただきました。

その中から、小学生の部、中学生の部それぞれに、最も優れた作品を最優秀賞、優れた作品を優秀賞、長野県の魅力をよく表している作品を特別賞として表彰しました。また、学校として優れた取組をした学校1校を学校賞として表彰しました。入賞者は次のとおりです。

【小学生の部】 応募数 45点

最優秀賞	高橋 朝香さん	(信濃町立信濃小中学校6年)
優秀賞	板山 颯祐さん	(伊那市立富県小学校6年)
優秀賞	丸茂 祐輝さん	(茅野市立湖東小学校5年)
特別賞	吉澤 七海さん	(伊那市立富県小学校5年)
特別賞	宮坂 怜花さん	(岡谷市立田中小学校3年)



【中学生の部】 応募数 369点

最優秀賞	下村 琢真さん	(屋代高等学校附属屋代中学校2年)
優秀賞	山田 一輝さん	(屋代高等学校附属屋代中学校1年)
優秀賞	伊藤 駿治さん	(屋代高等学校附属屋代中学校1年)
優秀賞	藤井 紅葉さん	(中野市立南宮中学校1年)
優秀賞	小島 聖矢さん	(屋代高等学校附属屋代中学校2年)
優秀賞	山内 文寛さん	(信州大学教育学部附属松本中学校2年)
優秀賞	田島 幸奈さん	(松本市立菅野中学校2年)
優秀賞	西川 凜さん	(信州大学教育学部附属長野中学校3年)
優秀賞	上條 真奈さん・牧野 翔馬さん	(松本市立清水中学校3年)
優秀賞	前田 大和さん	(信州大学教育学部附属松本中学校3年)
特別賞	塚田 龍虎さん	(屋代高等学校附属屋代中学校3年)

学校賞 伊那市立富県小学校

小学生の部で最優秀賞を受賞した高橋さんは、「自分の住む町にある野尻湖の魅力を伝えたい」と願い、「野尻湖の面積は4.56km²、周囲長は16km、諏訪湖の面積は13.3km²、周囲長は15.9km。周囲長はあまり変わらないのに、諏訪湖の面積が野尻湖の面積の3倍もあるのはなぜでしょう。理由を説明しましょう。」という問題を作りました。この問題の解答は「野尻湖は周りがくねくねしているのに、諏訪湖はきれいな丸に近いから野尻湖の面積は諏訪湖より小さくなる。」です。「周囲の長さが同じくらいなのに、なぜ面積が大きく違うのだろうか」という素朴な思いを取り上げ、「その理由を説明する」という点で大変優れた作品です。

中学生の部で最優秀賞を受賞した下村さんは、稲作体験を行った、学校の近くの姨捨の棚田に興味をもち、「地域の理解も深めることができる問題を作りたい」と願い、県内の棚田のデータを調べ、問題を作りました。その一部は、「1反歩、25haは、25m×10mのプール何個分の面積となるか。」

という問題で、この解答は「プールの面積：250 m²、1反歩=1,000 m²、25ha=250,000 m²なので1反歩は4個分、25haは1,000個分」となります。「地域の景勝地を数学と結び付け、身近な面積と置き換えて測る」という数学的な視点で作成された大変優れた作品です。

学校賞を受賞した富県小学校は、「問題を作成することは、学習してきた事柄の理解をさらに深める大事な場である」と考え、5、6年生が問題作りに取り組みました。また、作成した問題を小冊子としてまとめ、互いに解き合う機会も設けるなど、学校全体として大変熱心に取り組みました。

応募作品は、総合教育センターHPの「学びの広場」に掲載しています。多くの児童生徒のみなさんがコンテストの問題を解き、長野県の魅力を感じるとともに、算数・数学に対する興味・関心を深めることを願っています。

▼総合教育センターホームページ：学びの広場▼

http://www.edu-ctr.pref.nagano.lg.jp/kjouhou/manabi-hiroba/08_contest/index.html

◆お問い合わせ◆

長野県教育委員会教学指導課義務教育指導係

電話：026-235-7434 FAX：026-235-7495

E-mail：kyogaku@pref.nagano.lg.jp

[目次に
戻る](#)

イベント情報・お知らせ

★「“つながろう木曾” 応援運動」にご協力をお願いします★

御嶽山噴火災害により、地域経済に大きな影響が生じている木曾地域を、個人、企業、団体、市町村など県民の皆さまが、「自分でできること」で応援する運動を開始します。

より多くの皆さまが、この運動にご賛同いただき、「木曾を訪問する」「木曾で会議を実施する」「木曾に宿泊する」「木曾の物産を購入する」「木曾の情報を発信する」などにより、木曾地域への応援にご協力くださいますようお願いいたします。

▼長野県関連ホームページ URL

<http://www.pref.nagano.lg.jp/kankoshin/kiso-oen.html>

★HAKUBA VALLEY へおいでください！！★

先週末以来の降雪により、長野県内スキー場は良好なコンディションで次々とオープンしています。HAKUBA VALLEY（白馬村、小谷村、大町市）のスキー場も元気に、安全に営業をスタートしています！

▼長野県関連ホームページ URL

<http://www.pref.nagano.lg.jp/kankoshin/okoshinominasama.html>

★第3次長野県子ども読書活動推進計画についてへの皆さまのご意見を募集中です★

募集期間：平成26年12月25日（木曜日）から平成27年1月23日（金曜日）

長野県教育委員会では、現在「第3次長野県子ども読書活動推進計画」の策定を進めています。

この計画は、子どもの自主的な読書活動を目指し「子どもの読書活動の推進に関する法律に基づき、平成21年3月に策定した「長野県子ども読書活動推進計画（第2次計画）」の取組の成果と課題を踏まえ、平成27年度からおおむね5年間を計画期間とする第3次計画として、県の基本的な施策を示すとともに、市町村や学校・読書ボランティアをはじめとする民間団体等による子どもの読書活動推進のための指針として策定するものです。つきましては、当該計画（案）に関しまして、広く県民の皆様からご意見を募集します。

★第67回全国植樹祭「苗木のスクールステイ」参加校を募集しています！★

第67回全国植樹祭の記念事業として、森林や身近な緑の大切さを多くの皆さんに知っていただくとともに、全国植樹祭の開催を全県で盛り上げていくために、大会の記念植樹や学校・地域の緑化活動等に使用する苗木を、県内のみどりの少年団や学校で育てていただく「苗木のスクールステイ」への参加校を募集します。

募集対象：県内のみどりの少年団、小中高等学校、短期大学、大学、専門学校等
（みどりの少年団や学校単位でのお申し込みをお願いします）

募集期間：平成26年2月から平成27年3月末まで

▼詳細はこちら▼

<http://www.pref.nagano.lg.jp/shinrin/ringyo/zenkokushokujyusai/schoolstay.html>

★スポーツ課からのお知らせ★

◆第35回全国中学校スケート大会

日時 平成27年1月31日(土)～2月3日(火)

会場 スピードスケート：長野市オリンピック記念アリーナ(エムウェーブ)

フィギュアスケート：長野市若里多目的スポーツアリーナ(ビッグハット)

全国の中学生スケーターの聖地「長野」で今年も熱い戦いが繰り広げられます。

今年度のスローガンは、「長野に刻む ひとつの歴史 大きく羽ばたけ 未来へ向かって」です。

一緒に応援しましょう!!!

【第35回全国中学校スケート大会 WEB ページ】

<http://homepage3.nifty.com/skating-nagano/>

◆メールマガジン「部活動NAGANO」

本県の運動部活動を応援するメールマガジン「部活動NAGANO」を平成26年6月26日に創刊しました。以下のHPで登録方法をご案内しておりますので、積極的に登録をお願いします。

第1号(6月26日配信)

「今こそ見直そう!運動部活動のコーチング観」

第2号(9月4日配信)

「北信越中学校総合競技大会総括」

「美味しく食べて疲れ知らず!元気でたくましい信州ジュニア・アスリート」

第3号(1月8日配信)

「体罰は、スポーツ指導に必要な PART 1」

【長野県教育委員会 スポーツ情報 WEB ページ】

<http://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/kyoiku/sport/index.html>

◆お問い合わせ◆

長野県教育委員会スポーツ課

電話：026-235-7449 FAX：026-235-7476

E-mail：sports-ka@pref.nagano.lg.jp

[目次に
戻る](#)

★県立長野図書館からのお知らせ★

1. 北陸新幹線金沢延伸記念 企画展示

「新幹線でつながる地域、つながる図書館 —石川・長野 2 県立図書館合同企画—」

いよいよ3月14日(土)に北陸新幹線長野—金沢間が開業しますね。日本の伝統的な色使いでカラーリングされたピカピカの新型車両は、見るだけで旅情をかき立ててくれます。開業後はこの新幹線に乗って、時間的距離がぐっと近くなる石川県まで旅行してみたいと思っている方も多いのではないのでしょうか。

そこで当館では金沢延伸を記念して、石川県立図書館と連携した初の合同企画展示を行います。加賀百万石の歴史ある風土を、ぜひ当館で感じてみてください。

◆実施期間 2月14日(土)～3月26日(木)

◆展示場所 玄関ロビー、一般図書室

◆概要

(1)石川県立図書館の郷土資料を展示

今回、石川・長野の両県立図書館が所蔵する郷土資料の交換展示を行います。石川県に関する様々な資料を身近でじっくり見られる貴重な機会ですので、ぜひご来館ください。

(2)石川県関係観光パンフレットの配布

石川県内各地域の観光パンフレット類をご用意します。もちろん自由にお持ち帰りいただけますので、ピカピカの北陸新幹線に乗って出かける石川県旅行を計画してみてもはいかがでしょうか。

(3)新幹線関連資料の展示・貸出

開業とともに、新幹線や鉄道に関心を持たれた方も多いのでは？

そこで一般図書室では、当館が所蔵している様々な資料を集めたコーナーを作ります。新幹線に使われる最新技術や鉄道の歴史、昔の列車の写真集など、大人も子どももワクワクする本がたくさんありますよ。

□お問合せ：企画協力課 ([TEL:026-228-4939](tel:026-228-4939))

2. 「雑誌スポンサー」を募集します ～ 雑誌カバーに広告を掲載できます ～

当館では平成24年度から雑誌スポンサー制度を導入しています。

この制度は、図書資料(雑誌)を広告媒体として活用することにより、民間事業者等の情報発信の場を提供するとともに、図書資料購入のための財源を確保し図書館サービスの充実を図ることを目的とする制度です。事業者の皆様方からの応募をお待ちしております。

◆募集期間 平成27年1月20日(火)～3月15日(日)

◆応募対象 事業を行っている個人または団体(企業、商店、協会、団体等)

◆スポンサー期間

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

※なお、最長で平成30年3月31日まで延長が可能です。

◆雑誌購入代金の負担

スポンサーにご負担いただく雑誌購入代金は、一括先払いとし、当館指定の雑誌納入業者にお支払いいただきます。振込手数料等、購入代金の支払いに必要な経費は雑誌スポンサーである事業者の負担となります。

◆スポンサーの対象となる雑誌

当館ホームページ内にある「スポンサー雑誌一覧」(現在111誌)のとおりです。1スポンサーにつき10誌までお申込できます。

◆申込方法

(1)県立長野図書館雑誌スポンサー実施要綱第7条により「雑誌スポンサー申込書」(様式第1号)に、広告案、会社概要等(業種等営業活動がわかるもの)を添えて、郵送・FAX・持参のいずれかの方法で当館までお申し込みください。

(2)要綱等は当館ホームページからダウンロードすることができます。

◆広告方法と内容

スポンサーとなった雑誌の最新号のカバーにスポンサー事業者名と広告を表示し、利用者に関覧していただけるようにします。

また、県立長野図書館内に「雑誌スポンサー」コーナーを設けるなど、スポンサーである事業者が情報発信に活用いただける場をご提供いたします。

□お問合せ：資料情報課 ([TEL:026-228-4921](tel:026-228-4921))

ホームページ <http://www.library.pref.nagano.jp>

3. 「第7回 起業・経営無料相談会 in 県立長野図書館」を開催します

当館では、一般社団法人長野県経営支援機構との共催により、ビジネスに関する相談を受け付ける相談会を下記のとおり行います。どなたでも無料で相談でき、専門家が対応します。また、事前予約の内容をもとに司書が相談の参考になる資料を紹介いたします。ぜひお気軽にご相談ください。

- ◆日 時 平成27年2月14日(土) 13:30-16:00
- ◆会 場 当館3階 第1会議室
- ◆対 象 県内の事業経営者をはじめ、起業等を考えている方
- ◆相 談 員 中小企業診断士・社会保険労務士・税理士・弁理士・弁護士・公認会計士等(参考資料の紹介や調査は司書がお手伝いします。)
- ◆申込方法 事前予約制(申込書に必要事項を記入の上、当館宛にメール・FAX・郵送でお送りいただくか、直接ご持参ください。)
- ◆受付期間 1月27日(火)～2月6日(金)まで

□申込に関する問合せ：企画協力課 ([TEL:026-228-4939](tel:026-228-4939))

4. 休館日のお知らせ

1月～2月の休館日は、次のとおりです。

- ・月曜日 1月26日、2月2日、9日、16日、23日
- ・月末整理日 1月30日(金)、2月27日(金)

■年間の図書館カレンダーは、下記からご覧いただけますのでご利用ください。

→ <http://www.library.pref.nagano.jp/guidance/access#cft4>

◆お問い合わせ◆

県立長野図書館

〒380-0928 長野県長野市若里1-1-4

TEL: 026-228-4500 FAX: 026-228-4933

E-mail: naganotoshokan@pref.nagano.lg.jp

[目次に
戻る](#)

本メールマガジン「教育ながの」に関するアンケートを1月31日まで実施中です。

記名は必要ありません。以下 URL から御協力お願いいたします↓↓↓

<http://www.shinsei.elg-front.jp/nagano/navi/procInfo.do?govCode=20000&procCode=100523>

あとかぎ

明けましておめでとうございます。メールマガジン2月号をお送りします。

2015年になって早くも20日が経過しました。成人の日が過ぎ、「今年の年始はあまり正月らしいことをしなかったな」などと、つらつら思い返す今日この頃です。そもそも正月らしいこととは何なのかは不明ですが・・・。

さて、年末から引き続きメールマガジン「教育ながの」に関するアンケート調査を実施しています。締切りは1月31日までとなっています。名前の記入は必要ありませんので、ぜひ御協力をお願いいたします。

(か)